

ICT技術サポートを提供する事業を通じて 社会の発展に貢献する！

我が社の歴史

エクナ株式会社は、現取締役相談役の宮武幸男が昭和47（1972）年10月、有限会社岩手データマシンの名で、事務機器の販売と保守サポートを行う会社として創業致しました。その後、テーアイイー岩手（東芝製オフィスコンピュータ専売会社）、エクナシステムズ（システム開発専門会社）の2社を開設し、昭和62（1987）年、3社グループとしてC I（コーポレートアイデンティティ）を利用し、Electronic（電子的な）TECHNological（科学技術の進歩による）Agency（代理店）の文字を組み合わせた造語による、『ECHNA』（エクナグループ）が誕生いたしました。

そして、各社が業務を拡張、発展させる中、平成14（2002）年1月には3社が合併し、現代表取締役会長佐藤久のもと、グループ名

を冠した、IT機器、システムを販売サポートするエクナ株式会社として現在に至っております。

創業は当時隆盛を極めていた大手スーパー「ダイエー」が盛岡店オープンに当たり、スウエーデン製機械式レジスター「スエダ」100台の保守（アフターサービス）が出来る会社を探しており、それが起業に繋がっています。その後も計算業務の多い会計事務所や農協様、開業医様などを中心に、コンピュータシステムを利用した業務効率化・業務改善のお手伝いをさせていただいております。また、データの紙媒体への出力としてコピー、FAX、プリンタやこれらの機能等を兼ね備えたMFP等の機器の納入とそのサポートも大きな事業となっております。

我が社は開業当時から、機器・システムを販売するだけでなく、機器の技術サポート

とシステムの運用サポートを自前で行うワンストップサポートというところに大きな特徴を持っており、その部分でお客様からご支持をいただき、大変感謝いたしております。

創業47年を迎えた現在では、盛岡本社を中心に北上、一関、宮古、二戸に営業所を開設し、個人事業主様から民間企業様、医療機関様、そして北東北3県の自治体様まで3000団体を超えるお客様のネットワーク構築、サーバー、PC、周辺機器、MFPなど各種の多様な機器の提供とそのセキュリティ管理、業務・業種に特化した各種システムの開発そして、納入からその技術サービス、運用まで、一貫したサポート体制で事業をさせていただいております。

我が社の方針

社訓『いつも、あなたと未来と』



エクナ株式会社
（盛岡市）
代表取締役社長

吉川 和彦

経済はいつの時代も好不況の波があり、世界情勢も複雑化するのが世の常ではありませんが、我が社はこの社訓にある様に、時代が変化しても常にお客様に寄り添い、明るい未来に向かって一緒に歩み進歩、発展して行きたいと考えております。

また、社員が行動しやすい様に、行動理論として『顧客第一主義』、『三断』（判断、決断、断行）を掲げております。130名を超える社員が常に会社の代表としての意識を持ち、お客様先での対応に迷う様な難しい場面でも、常にお客様に喜んでいただく為には何をすれば良いのか、何が出来るのかを思考し、判断し、行動して欲しい。そして自ら決断を下し、自信を持って断行して欲しいと願い、任せております。

常に自ら考え、行動できる社員の育成こそ、これからの会社の繁栄にはなくてはならないと考えております。

お客様を守る為の施策

創業時から黎明期、ポケットベルも携帯電話もない時代には、全社共通で1冊の大学ノートを利用して、お客様からのお問い合わせと対応の内容を記録し、全社員が帰社後に必ず目を通し、自身の担当ユーザー様からの多種多様なお問い合わせに、確認及び対応終了の判を押すチェック文化がありました。このノートのお陰で当時から対応漏れ等が無い

かを全社員で共有しており、非常に役立ちました。

その後、自社で開発したCRM（カスタマーリレーションシップマネージメント）による顧客管理システムを活用して、より詳細に記録し、スピーディーな対応をさせていただいております。このシステムのお陰で、現在も対応未完了のお客様がいらっしやらないかを全社員で意識して確認し、リアルタイムにユーザー様からのお問い合わせへの対応済・未対応、完了・未完了を管理することで、お客様の満足を高め、お客様のお仕事がスムーズに進められる様、努力致しております。

第4次産業革命

〜次世代の予想と覚悟〜

IT・ICTの利用は今や必須で、避けて通れない時代です。ICTの活用は、蛇口をひねるといつでも水が出ること、スイッチオンで電気がつくこと、と同様のインフラと言えます。

全ての機器がネットワークに繋がるIoT時代が目の前に迫っていますし、自動運転も実証実験レベルを超え、無人ドローンが農業・漁業・建設業・運輸業などあらゆる業界に利用され、ロボットが人間に変わって仕事をすする、そんな時代が近づいています。更に次世代通信環境となる5G（ファイブジー）の運用も間もなく開始されます。超高速、超低遅

延、多数同時接続、つまり、速い、遅れない、切れない、そして多数の機器が同時に繋がる時代の到来です。AI（人工知能）が人間の能力を超える転換点、いわゆるシンギュラリティーもこの5年、10年の間に起こると言われています。

今年も日本にもキャッシュレスの波が訪れております。私達の生活も、仕事も、劇的に変わろうとしています。次に来る時代も新技術は必要になると思われれます。我々はそれらの技術提供企業として努力を惜しまず学習し、どんな時代が来ようともお客様の良きアドバイザーとして寄り添って参ります。

社会の公器

〜必要とされる企業であり続ける〜

経営の神様、松下幸之助氏は「企業は社会の公器である」と説きました。

我が社も、ネットワーク、セキュリティ、WEB、メール、回線などのビジネスインフラを担い、ビジネスに必須であるICTを利用したシステムのサポートをさせていただいておりますので、お客様が安心してビジネスの遂行が出来ます様、そして、今後もエクナは社会に貢献することで生かされていることを肝に銘じ、少子・高齢化、人口減少が確実になったこれからの難しい時代を、お客様、お取引様、地域と連携を取り、社会の公器として存在し続けるよう努力して参ります。